



会員の皆さん、こんにちは。いくぶん残暑も和らぎ、しのぎ良い日が多くなりましたね。夏の疲れなどは出ていらっしゃるでしょうか。

さて今年度も例年にのっとり、つかさ会 秋の講演会の開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症の流行状況に注意を払いつつ、現時点ではオンサイトとオンラインのハイブリッド開催を予定しております。詳細が決まり次第ご案内申し上げますので、今しばらくお待ちください。尚、岐阜大学が行う、医学市民講座のご案内を同封しましたので、よろしければご参加ください。(受付期限:9月5日)

今月は、4月から当科に入職した日比先生に、「さかえ」の読みどころを紹介させていただきます。

本年度入局しました、日比 康平と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

今月号の『さかえ』の特集1は『遺伝的要因から糖尿病を考える (p.5)』、特集2は『インスリン分泌不全とインスリン抵抗性 (p.28)』、特別企画1は『あなたと共有するAGPレポート (p.17)』、特別企画2は『糖尿病と微量元素 (p.35)』になっております。

糖尿病になりやすい体質があるのはご存知でしょうか。2型糖尿病は遺伝的因子と、運動不足や過食などの環境因子の両方が影響しているといわれています。特集1では、遺伝的側面から糖尿病との関連が解説されています。「遺伝」というと難しい話のように感じますが、大変わかりやすく、今後の治療にどのように生かしていくことができるのかについても説明されています。これまでの「家族が糖尿病で、遺伝的に糖尿病になりやすいから仕方ない」という考え方がなくなり、「遺伝的にこの食事療法や内服薬がよく効く」という考え方があたりまえになるかもしれません。

特集2では、糖尿病の原因であるインスリン分泌不全とインスリン抵抗性について解説されています。一言に高血糖といってもその原因は様々です。どうして血糖が高くなるのかについて正しく理解をされている方は意外と少ないのではないのでしょうか。この特集ではインスリン作用の側面から、図を使ってわかりやすくまとめられています。また新しい糖尿病治療薬のイメグリミン(ツイミーグ)についても紹介されていますので是非ご覧ください。

特別企画1は『あなたと共有するAGPレポート (p.17)』です。みなさんは「リブレ」や「持続血糖測定器」という言葉を聞いたことがありますか。500円玉くらいの大きさのセンサーを二の腕に張り付けることで血糖値を測定できる機械のことで、ここ数年で使用者が増えています。利点としては毎回血糖測定の際に穿刺針を使う必要がないため疼痛や手間がかからず、また食べたものに依りてどのくらい血糖が上がるかグラフでわかることが挙げられます。実際に開始された使用者の方からの評判もとても良いです。すべての患者さんに利用の適応があるわけではありませんが、興味のある方は医療スタッフにお気軽にお声がけください。

特別企画2は微量元素について解説されています。「微量元素」という言葉はあまり聞きなじみがないと思います。亜鉛、ヨウ素などの体を構成する元素で、極めて少量しか存在しない元素のことを言いますが、今回は糖尿病との関わりやどのような食べ物に多く含まれるのか解説されています。日ごろから食生活から心掛けることが肝要なため、是非一読いただき今後の食生活に生かしていただきたいです。

連日の蒸し暑さに夏バテ気味の今日この頃でしたが、お盆も過ぎて、朝夕は幾分か過ごしやすくなってきました。盛夏の疲れが出やすい時期ですので、くれぐれもご自愛ください。